

東京ホームタウン大学

* 分科会1 * 介護予防 多様化するアプローチ

新たな担い手を求めて

区民参加型ワークショップへの挑戦



平成30年2月24日
世田谷区 高齢福祉部
介護予防・地域支援課



世田谷区のあらし



• 地域包括支援センター
(あんしんすこやかセンター)
27ヶ所 (委託)

- 面積
58.05 km²
- 日常生活圏域
27地区
- 人口(H30.1.1現在)
900,107 人
- 高齢者人口(同上)
181,908 人
- 高齢化率(同上)
20.21%
- 認定者数(H28年度)
38,037人
- 認知症高齢者(同上)
21,696人

世田谷区の「介護予防・日常生活支援総合事業」

～平成28年4月から～

総合事業の特徴は、地域の支えあいによる介護予防や生活支援として「住民参加型サービス」があることです。これまでの経験や知識、趣味、特技等を活かして、サービスの支え手になって、地域社会で活動することにより、いきいきと生きがいを持ちご自身の健康を維持しませんか？

- ◎介護保険事業所で生活援助のお仕事をするための研修を受けたい
- ◎簡単な家事援助をする支え手として登録したい
- ◎仲間とともにデイサービスを運営したい など

訪問型の「支えあいサービス」、通所型の「地域デイサービス」があります。



担い手は少しずつ増えていますが、まだまだ少ないのが現状です。

新たな担い手を発掘するために

社会参加の重要性や、住民同士の「支えあい」の意識醸成を図るとともに、興味・関心のある区民を担い手としての活動に結びつけることを目的として、健康長寿普及啓発事業を実施することに。

- | | |
|------|-------------|
| 9月1日 | 健康長寿講演会開催 |
| 9月中旬 | 健康長寿セミナー 5回 |
| ～11月 | (各地域1回ずつ開催) |

だがしかし・・・

職員全員が初心者。

何をどうしていいかわからない！



そこで・・・



いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウンプロジェクト

TOKYO=HOMETOWN PROJECT



地方独立行政法人
東京都健康長寿
医療センター



SOS



東京ホームタウンプロジェクト
の伴走支援を申請。

介護予防推進支援センター
にも応援を要請。

健康長寿セミナーのテーマ

**「私がまちでできること
私のまちでできること」**

自分の元気のため、周りの人の元気のため、
自分のまちでできることを考えていきます。

セミナーのポイント

- 地域の活動を知る

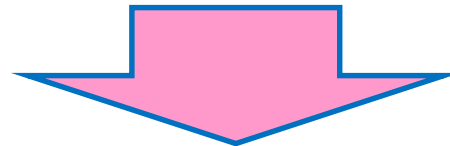
知る

学ぶ

- 地域での活動が、自分自身の健康長寿のためになることを学ぶ

- 自分のため、周りの人のために何かができるか考える

考える



興味を持つ

行動に移す

* 情報コーナーの設置



地域で支えあう取組みのパネル紹介や、関連事業のチラシ配架。

* 活動者へのインタビュー

住民主体型サービス等の活動者に、インタビュー形式で体験談や感想などを聞く。



* 地域でできることを考えるグループワーク



アメを使ってグループ分け。
小道具にもこだわりました。

♪自己紹介シート（名立て）



♪おもちゃマイク

発言者を明確化し、注目させるため、発言者はおもちゃのマイクを使用。



♪グループファシリ用紙芝居



参加者の協力が得やすいよう、進行が目でわかるようにパネルで表示。

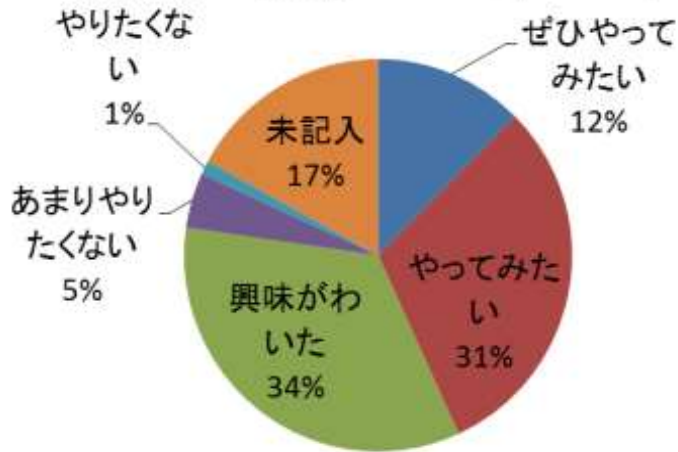
《発表の様子》



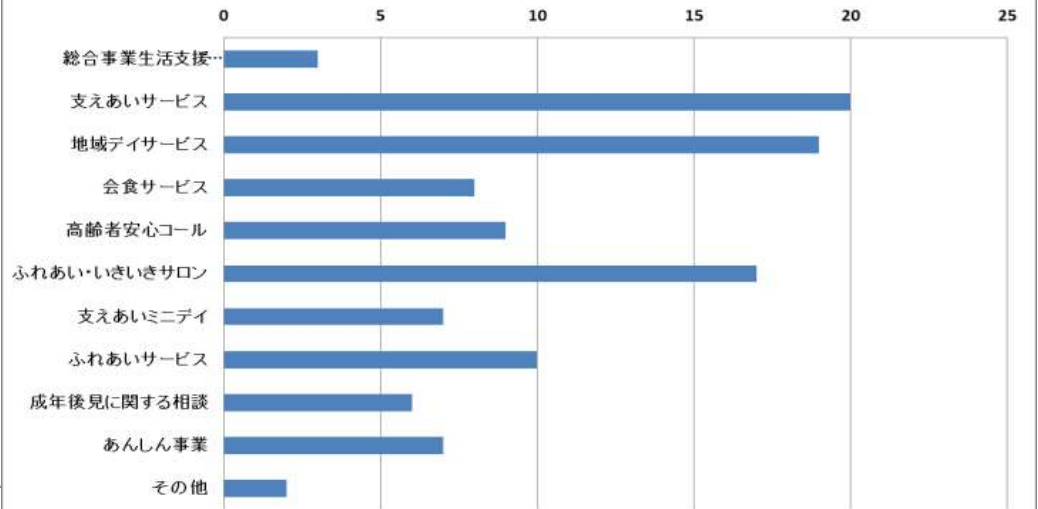
クラウン型のフセンやカラフルなペンを使うなど、楽しく和やかな雰囲気になるよう工夫。ワークが盛り上がり、どのグループも参加者が積極的に発表してくれました。

アンケートの結果から

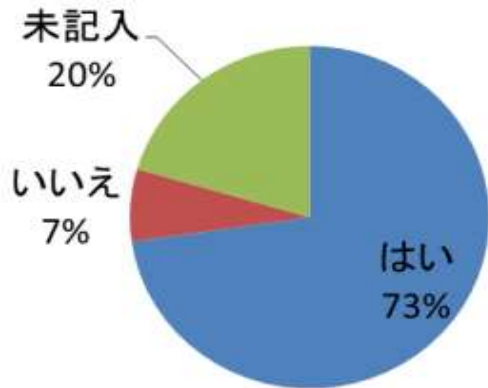
支えあい活動について(N=88)



「やってみたい」「やってもいい」と思った活動 (複数回答)



今後の情報提供希望の可否(N=88)



希望者に対して、担い手養成のための研修案内等を送付し、その後の研修受講等につながっている。

成果と課題

成果1. 新たな層の開拓

成果2. チーム力の強化



課題1. 意識から行動へ

行動変容に結びつけるためには、内容の工夫が必要。

課題2. 行動化までのフォロー

様々な機会を捉えて、高齢者の社会参加を促進するためには、社会福祉協議会との連携強化が必要。

これからの取組み

引き続き、区民の支えあい意識醸成のため



この取組で培われたチームワークを活かして
新たなことにチャレンジしていきます！